

『越後山から白子湧水群の散策会』報告

実施日時 2008年12月6日(土) 13:00~15:30

内容 和光市環境課の依頼で企画をした第2回目の散策会は、午後から天候が良くなり、和光や朝霞からの参加者と会員約40名、環境課丸山さん、菘和田さん、奥村さんの取り纏め、県土整備事務所部長の内藤様もお出でいただきました。南公民館に集合、早速、晩秋の紅葉が見事な越後山へ。全員で和光最大の雑木林を体験、見事なドングリのなる大木やモミジの間から白子川が見え、足元では巨大なドングりに驚嘆の声。川と森が一带となった白子川水辺再生事業予定地では、この事業の現状を内藤部長から伺い、今後に期待したい所です。八雲神社から熊野神社までは、グリーンベルトが連なり、急傾斜の雑木林と点在する白子湧水群を見学。大坂ふれあいの森では、湧水と植生の関連が見られ、「和光の今を知るエコツアー」となり、これからの緑地保全に関して有意義な会となりました。

コース 南公民館 越後山 白子川水辺再生 八雲神社(保全緑地) 百段階段(白子の滝) 大坂ふれあいの森(湧水と斜面林) 熊野神社(鎮守の森と湧水の滝)

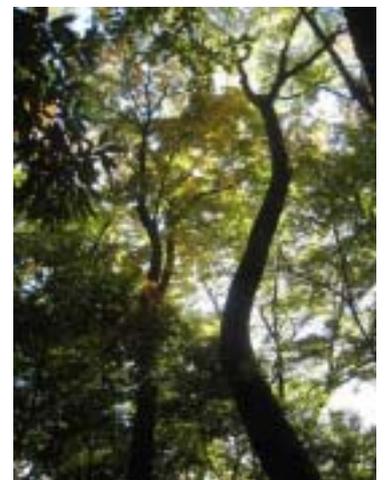


画像を使った簡単な散策会の報告

和光の南のはずれ南公民館を集合地にしました。公民館の入り口前で散策会の資料配布。



越後山に到着。300mに広がる約9000㎡の斜面林。森の探検。クヌギやモミジ、イヌザクラなど。



巨大なドングリが敷き詰められた一画

いよいよ白子川水辺再生予定地に到着。川に湧水も流れ込む。2400 m²の県有地・向山で部長のお話



八雲神社の憩いの森(11月下見の写真)。急斜面の百段階段を下る。放置された白子の滝と豊富な湧水。



湧水と斜面林の保全が一部進んでいる大坂ふれあいの森。



武蔵野台地の末端部の特徴的な湧水が斜面下から湧き出て、ムクノキ、その上部にはイヌシデが急な斜面の保護している。



水の力で水車が回り、昔を偲ばせる。(7月撮影)

最も水量の多い白子湧水群。武蔵野礫層も見られる。

黄色一色のイチョウの葉の絨毯。

湧き出した水が水路から配られる仕組みの所。

熊野神社に到着。お疲れ様でした。



越後山から
白子湧水群の旅